

警察取扱いの新型コロナウイルス陽性死体の都道府県別内訳について

令和3年8月中に把握された250人の都道府県別内訳は次のとおり。

都道府県	人数
東京	112
埼玉	23
神奈川	22
大阪	20
千葉	19
愛知	7
兵庫	6
沖縄	5
静岡	4
北海道	3
茨城	3
京都	3
宮城	2
福島	2
栃木	2
三重	2
熊本	2
大分	2
青森	1
山梨	1
長野	1
富山	1
石川	1
岐阜	1
滋賀	1
奈良	1
岡山	1
広島	1
福岡	1
29都道府県	250人

新型コロナウイルス陽性死体取扱状況について

月別	陽性死体取扱い数 (件)	PCR等検査実施時期		発見場所	
		生前	死後	自宅等	外出先
令和2年1月	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0
3月	2	0	2	1	1
4月	21	3	18	19	2
5月	6	0	6	4	2
6月	1	0	1	1	0
7月	3	0	3	2	1
8月	10	3	7	7	3
9月	4	2	2	4	0
10月	9	3	6	8	1
11月	10	3	7	8	2
12月	56	18	38	50	6
令和3年1月	132	56	76	123	9
2月	22	8	14	20	2
3月	31	9	22	29	2
4月	96	39	57	91	5
5月	97	39	58	92	5
6月	36	6	30	30	6
7月	31	13	18	28	3
8月	250	132	118	218	32
合計	817	334	483	735	82

※ 「自宅等」は、入所施設、宿泊施設も含む。

※ 「外出先」は、自宅等以外のもの。

死後に検査あり

警察取扱いの新型コロナウイルス陽性死体の死因別内訳について

令和3年8月中に把握された250人の死因別内訳は次のとおり。

(86% = 187人)

○ 内因死	216人
・ 新型コロナウイルス感染症	158人
・ 肺炎	29人
・ その他 (コロナでない)	24人
・ 不詳	5人
○ 外因死 (コロナでない 病死以外)	22人
○ 未確定	12人

※ 検案医等からの聞き取りにより把握されたもの。疑いがあるとされたものを含む。

令和3年9月14日  
警察庁刑事局捜査第一課

## 警察取扱いの新型コロナウイルス陽性死体の死因別内訳について

令和3年8月中に警察が取り扱った新型コロナウイルス陽性の御遺体のうち、死後にPCR等の検査が実施された118人の死因別内訳は次のとおり。

○ 内因死	106人
・ 新型コロナウイルス感染症	65人
・ 肺炎	25人
・ その他	13人
・ 不詳	3人
○ 外因死	5人
○ 未確定	7人

※ 検案医等からの聞き取りにより把握されたもの。疑いがあるとされたものを含む。

## 主要繁華街 滞留人口モニタリング 2021/09/5 まで（緊急事態宣言の適応地域①）

- 【沖縄】
  - ・夜間滞留人口は、再び減少に転じ、1度目の宣言時の最低値ラインに到達。一方、昼間滞留人口の増加が続いている。
- 【東京】
  - ・夜間滞留人口は、お盆明け2週連続で増加した後、直近1週間は減少。前週から7.1%減少し、緊急事態宣言前に比べると26.2%低い水準。特に、深夜帯（22-24時）の滞留人口の減少が顕著（前週比：9.3%減）。昼間滞留人口もお盆明け2週連続で増加した後、直近1週間で小幅ながら減少（前週比：3.7%減）。
- 【埼玉】
  - ・夜間滞留人口は、宣言発出後、減少し続けており、1度目の宣言時の最低値ラインに到達。昼間滞留人口はお盆明けから増加が続いている。
- 【千葉】
  - ・夜間滞留人口・昼間滞留人口ともにお盆明け2週連続で増加した後、直近1週間は減少。
- 【神奈川】
  - ・夜間滞留人口・昼間滞留人口ともに2週連続で増加し、宣言発令前の水準に戻る。
- 【大阪】
  - ・夜間滞留人口・昼間滞留人口ともにお盆明けから3週連続で増加。宣言前の水準に戻りつつあり、今後の感染状況への影響が懸念される。
- 【茨城】
  - ・夜間滞留人口は、7週連続で減少し、すでに1度目の宣言時の最低値ラインを下回る極めて低い水準を推移。昼間滞留人口も直近1週間は減少。
- 【栃木】
  - ・夜間滞留人口は、2週連続で低い水準（1度目の宣言時の最低値ライン）を維持した後、直近1週間で増加に転じる。昼間滞留人口も直近1週間で急激に増加。
- 【群馬】
  - ・夜間滞留人口は、前週から増加に転じ、直近1週間は横ばいで推移。昼間滞留人口は2週連続の増加。
- 【静岡】
  - ・夜間滞留人口は、重点措置適応後、4週連続で低い水準を維持している。昼間滞留人口はお盆明けから増加が続いている。

令和3年9月15日 衆議院厚生労働委員会 立憲民主党 長妻昭 提出資料

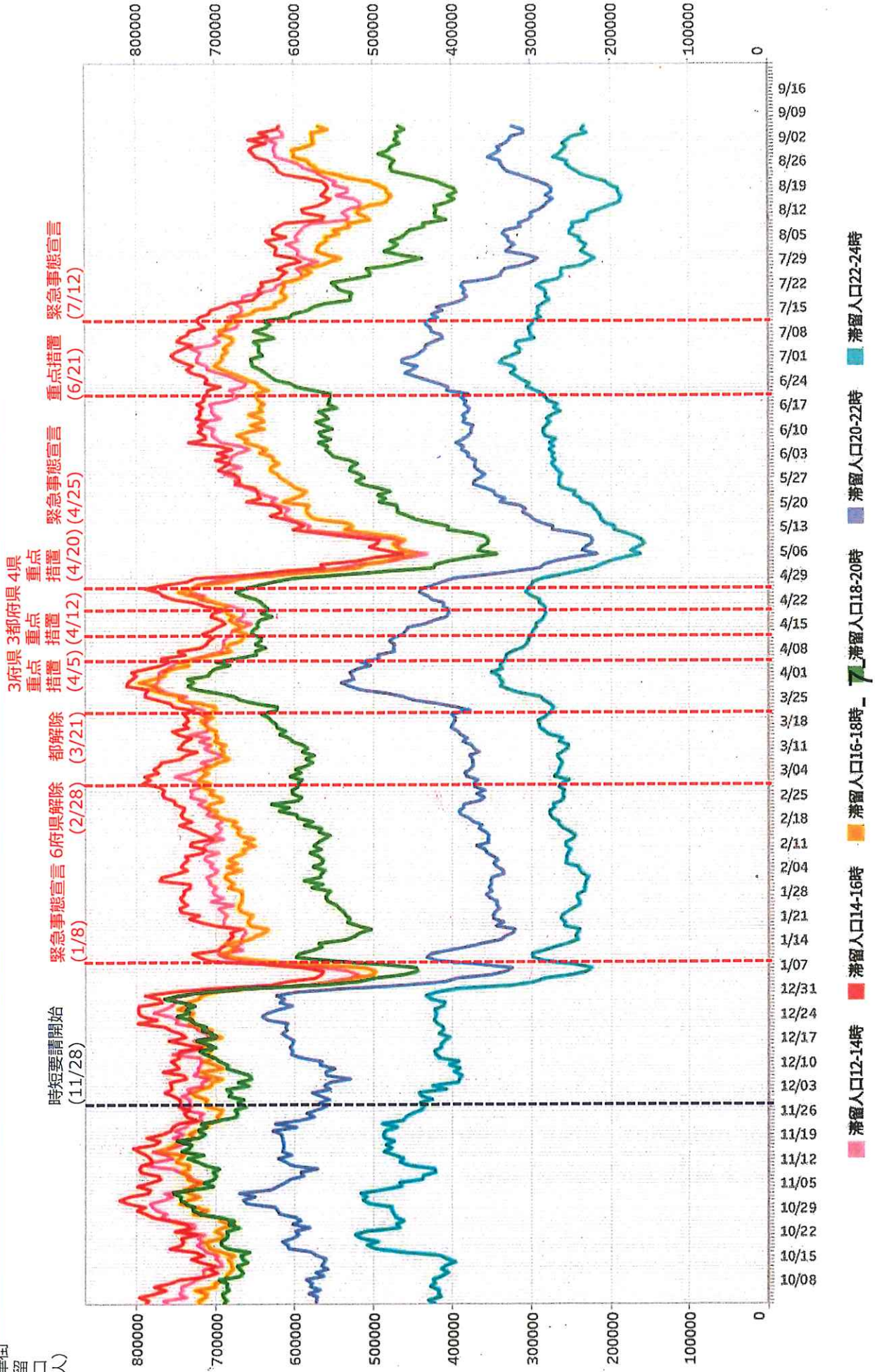
（出典）第51回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード（令和3年9月8日）資料3-4 西田先生提出資料



# 時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年9月5日）

緊急事態7/12-

繁華街  
滞留人口  
(人)



※対象繁華街は歌舞伎町・銀座一丁目・銀座センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

令和3年9月15日 衆議院厚生労働委員会 立憲民主党 長妻昭 提出資料

(出典) 第51回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード（令和3年9月8日）資料3-4 西田先生提出資料





も実現しました。

A L P S 処理水についても、安全性の確保と風評対策を前提に海洋放出を判断しました。

憲法改正を進める第一歩となる国民投票法も、成立させることができました。

外交・安全保障の分野でも、基軸である日米同盟のさらなる強化を図り、その上で自由で開かれたインド太平洋構想の具体化に向け、同志国・地域との連携と協力を深めることができました。

そして、東京オリンピック・パラリンピックです。この夏の開催には様々な意見もありましたが、招致した開催国として責任を果たし、やり遂げることができました。選手たちのすばらしいパフォーマンスは、多くの人々に感動をもたらし、世界中に夢や希望を与えてくれました。さらに、障害のある人もない人も助け合って共に生きる共生社会の実現に向けて、心のバリアフリーの精神を発信することもできたと思っています。

全てをやり切るには1年は余りにも短い時間でありましたが、子供や若者、国民の皆さんが安心と希望を持てる未来のために、道筋を示すことができたのではないかと、このように思っております。

内閣総理大臣として、最後の日まで全身全霊を傾けて職務に全力で取り組んでまいります。国民の皆さんの御理解と御協力をお願い申し上げます。

#### 【質疑応答】

##### (内閣広報官)

それでは、これから皆様より御質問を頂きます。

尾身会長におかれましては、所定の位置にお進みください。御質問の内容によりまして、尾身会長にも御説明を頂きます。

指名を受けられました方は、お近くのスタンドマイクにお進みいただきまして、社名とお名前を明らかにしていただいた上で、御質問をお願いいたします。

それでは、まず、幹事社から御質問を頂きます。

それでは、日本テレビ、山崎さん、どうぞ。

##### (記者)

日本テレビ、山崎です。

今回、緊急事態宣言が延長され、医療の逼迫も改善されない中、総理は退陣することになります。この1年を振り返って、新型コロナ対策を総括して、どこに問題があったのか、できなかったこと、反省すべき点について、国民に対し、自らの考えを具体的に説明してください。また、その反省を踏まえて、次の政権に取り組んでほしい課題についてお聞かせください。

##### (菅総理)

まず私自身、この1年間、コロナ対策に全力で取り組んできました。その中で、当時は正にコロナの全体像というのが全く分からない中で、先生方や海外の先行例を参考にしながら感染対策を行ってきました。そして、やはり医療体制をなかなか確保することができなかったというのは大きな反省点であるというふうに思っています。正にこの感染症法の改正によって、国や地方自治体が病床提供に対して、要請や、また、できなければ公表ができるようになりました。そういう中で、例えば東京都には厚生労働大臣と知事と両名でその要請を出しましたが、必ずしも十分な効果が得られているわけではなかったというふうに思っています。こうしたことはまず一つの大きな反省材料であるというふうに思っています。

ただ、それと同時に、この感染対策について、私はやはりワクチンが切り札だと思っています。日本よりはるかに厳しい制限を国民の皆さんに加えている海外においても、やはりロックダウンではなかなかコロナの感染拡大を阻止することはできなかった。しかし、最終的にワクチンによって大きく改善されたということも事実だと思っています。ですから、政府としては、ワクチン接種に全力で取り組んできました。そして、現在は抗体カクテルという重症化しにくい薬も開発されました。先ほど私が申し上げましたように、東京都をはじめ全国でこの治療法を使っていますけれども、そこは大きな効果が出ていますから、そこをやはり使い分けていくことがこれから大事だというふうに思っています。

私自身、今、できない部分のやはり一番は、何と云っても、病床を確保することだったと思いますし、それと同時に、コロナというのは、医師、看護師の皆さんも通常の3倍ぐらい掛かるということでもあります。例えばワクチン接種には多くの人が参加してくれますけれども、コロナ対策にはなかなか新しい人に来てもらうことは難しいとか、そうしたいろいろなことがあったということも事実でありますので、そうしたことを次の政権にはしっかりと、ワクチン、治療薬、そうしたことも含めて、現状を引き継いでいきたい、こういうふうに思っています。

尾身先生も、ちょっとよろしいですか。

7000/年?  
重症6000件

